

▶ 運命を切り拓くアクション

インド・ビシャカパトナムのスラムのオバチャンたちとの 36 ヶ月の記録
(JICA 草の根技術協力事業 PCUR-LINK 事業)



特定非営利活動法人ソムニード▶

平成16年(2004年)7月～平成19年(2007年)6月

運命を切り拓く アクション

この報告書は、ソムニードが JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）で、2004 年から 36 か月間、インドの都市スラムに暮らす女性たちと一緒に歩んだ記録です。

平成 16 年度 (2004 年 7 月～2005 年 3 月) 目覚めるオバチャン・パワー

平成 16 年 7 月

JICA やソムニードは一体アタシたちにどんなプレゼント（援助）をくれるの？！

PCUR-LINK 事業開始式。集まったのは 800 人を超えるビシャカパトナム市スラムに暮らすオバチャンたち。これまで政府や NGO からの援助の「受益者」でしかなかった彼女たちは、「JICA やソムニードからどんなプレゼント（援助）をもらえるかしら？」という期待でいっぱいでした。



平成 16 年(2004 年)7 月 9 日の事業開始式（於:ビシャカパトナム市内）

コラム1：ビシャカパトナムのスラムの オバチャンって誰？

インド東海岸に位置するビシャカパトナム市。ちょうどコルカタとチェンナイの中間にある港町。その人口は 130 万人とアーンドラ・プラデッシュ州では州都に続いて 2 番目に大きい町です。ビシャカパトナムのスラムは、港と鉄道の駅を結ぶ地域に多くが集中しています。オバチャンたちは、荷の上げ下ろし作業、青果市場での野菜小売り、建設現場などで日雇いの仕事をする人々が多く、一部の定職についている人以外は、収入が毎月安定しているとはいえない暮らしの人が大多数です。また夫は家計を助けず、一家を支える大黒柱は圧倒的に女性が多いというのが、この地域のスラムの特徴です。

平成 16 年 8 月

セルフ・ヘルプ（自助）なんて名前だけ

ミーティングを開くのも、毎月の貯蓄やローンの記録をつけるのも、銀行にローンを借りに行くのもすべて NGO「マヒラ・アクション」のスタッフにやってもらっていました。ソムニードの「自助グループってナンだろう」と自分で考えるワークショップに初めて参加したおばちゃんたちです。



平成 16 年(2004 年)8 月 2 日 SHG 対象ワークショップ第 1 回（於:ビシャカパトナム市内）

あなたが自分のグループを変えたいと思うなら一緒に活動しよう。そうでなければ事業に参加してもらわなくても結構。

コラム2：PCUR-LINK 事業って何？

事業の正式名称を「都市近郊農村部の女性自助グループと都市スラムの女性自助グループの連携による新たな産直運動構築と自立のための共有財産創出」といいます。その英語名を Creation of new type of Producer-Consumer relationship and common property resources through the Linkage of Urban-Rural women self help group ということから、略して、PCUR-LINK 事業と呼びます。ソムニードは、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する草の根技術協力事業に、パートナー団体として、2004 年から 3 年間にわたってインド、アーンドラ・プラデッシュ州ビジャカパトナム市を中心に事業を実施しました。

平成 16 年 9 月

どんなグループのことを「セルフ・ヘルプ・グループ（SHG）」というのだろう？

66 の SHG から代表者各 1 名が、9 月から 11 月にかけてチェンナイの NGO「CFDA」と SHG 連合体「アクシャ銀行」を視察しました。

ビジャカパトナムのスラムと同じような家に住み、同じような収入で暮らすアクシャ銀行の SHG のメンバーが見事に NGO スタッフの手を借りずに、おまけに、銀行や金貸しに頼らず、自分たちの貯蓄だけで返済率が 100%に近いローンの貸し借りを行っていました。もちろん帳面づけも、NGO スタッフではなく、読み書きのできるメンバーがやっていました。



平成 16 年(2004 年)9 月 21 日 チェンナイのアクシャ銀行の SHG メンバーから活動紹介をしてもらうビジャカパトナムの SHG メンバー(於:チェンナイ市内)

「アクシャ銀行」のメンバーに出来ることは、アタシにだって出来るはず。アタシもやってみるわ！」とビジャカパトナムに戻ったオバチャンたち。

平成 16 年 10 月

ドーピング効果？それとも持続的効果？チェンナイ視察後のオバチャンたち！

チェンナイから戻って俄然、元気になったオバチャンたち。「そんなこと出来ないワー」と言っていた帳簿付けやミーティング日時の設定を自分たちで自主的に行うグループがちらほら出現。ソムニードは一言も「帳簿をつけなさい」、「〇〇しなさい」とは言っていない。オバチャンたち自らが、自分のグループ内で行動を起こし始めました。



平成 16 年(2004 年)10 月 4 日 チェンナイ視察の報告をする(於:チェンナイ市内)

平成 16 年 11 月

スタッフの苦悩：SHG を助けてはダメなの？

11 月は、スタッフ全員で 1 日平均 5 つのグループを訪れました。1 ヶ月間で活動をしていない 6 グループを除いて 60 のグループをモニターしました。PCUR-LINK 事業のカウンターパート NGO の「マヒラ・アクション」のスタッフがつぶやきました。「SHG の活動をすべてオバチャンたち自身でやるようになったら、アタシたちスタッフは何をすればいいの？」



平成 16 年(2004 年)12 月 15 日 マヒラ・アクションのスタッフとミーティング(於:ビシャカパトナム市内)

事業開始から 4 ヶ月。NGO のスタッフが「SHG を助けてあげる」ことが、オバチャンたちに「依存」を作り出していたことに気づいていくスタッフ。

コラム3：SHG って何？

10 人から 20 人の低所得層の女性がグループを作り、毎月の貯蓄を元手にグループ内でお金の貸し借りする、というグループのことをインドでは「セルフ・ヘルプ・グループ」(略称 SHG)と言っています。インド全体でその数 200 万以上のグループがあると言われ、アーンドラ・プラデッシュ州では、50 万のグループがあります。(2006 年現在)しかし、セルフ・ヘルプ(自助)とは名ばかりでその多くが NGO や政府の職員が帳簿をつけ、ミーティングを開き、銀行からローンを借りる仲介をする等、外部機関の助けがなければ SHG の活動ができないグループが大多数です。

甘ったれた SHG など、ソムニードの PCUR-LINK 事業のパートナーではない。

平成 16 年 12 月

SHG の活動責任は SHG にある。ソムニードの知ったことではない！

オバチャンたちが、チェンナイから戻って数ヶ月。自分でやると言った「毎月のミーティング」や「定期的な貯蓄」といった活動を真剣にやらないグループもちらほら。そこで、オバチャンたちが「自分でやる」と言った項目 10 項目すべてを実行したグループのみが、PCUR-LINK 事業のパートナーに選ばれることになり、選抜が 1 月、2 月と続きます。



平成 16 年(2004 年)12 月 12 日 PCUR-LINK 事業パートナー選抜を説明するソムニードスタッフ(於:ビシャカパトナム市内)

平成 17 年 1 月

援助の「受益者」じゃなくて、PCUR-LINK 事業のパートナーSHGになりたいの！

「甘ったれ SHG とは一緒に活動しない」とソムニードに言われてしまったオバチャンたちは、大慌てでグループ活動の立て直しにかかりました。未返済のローンを回収したり、きちんと時間通りに月別のミーティングを開いたり、必死で自分たちで決めた 10 のルールを守ろうとしました。その結果、1 月末の選抜で PCUR-LINK 事業のパートナーとして選ばれたグループは 3 つとなりました。



平成 17 年(2005 年)2 月 8 日 パートナー選抜第 1 回で選ばれた 3 つのグループを対象にしたトレーニング(於:ビシャカパトナム市内)

平成 17 年 2 月

PCUR-LINK 事業パートナー-SHG 第 2 回選抜

1 月の選抜には惜しくも選ばれなかったけれど、再選抜で、2 月には 5 つのグループが選ばれました。今まで、自分たちで決めた SHG のルールを必死で守ろうとしたことなんてありませんでした。しかも SHG のルールをみんなで守ったことで、ソムニードから「PCUR-LINK 事業のパートナーに選ばれました」という認定書を受け取ることができました。「努力は認められる」ということを初めて体験したオバチャンたちでした。



平成 17 年(2005 年)2 月 23 日 パートナー選抜第 2 回で選ばれたグループの一つ。ソムニードからの認定書を見て大喜びの SHG メンバー(於:ビシャカパトナム市内)

自分たちで決めた SHG のルールを守ろうとがんばった。
そしてその努力が認められた。
それはスラムのオバチャンたちにとって、初めてのことだった。

平成 17 年 3 月

NGO や政府のミーティングでよく女性のエンパワーメントという言葉聞いたけど、アタシ「エンパワーメント」ってナンのことだかわからなかった。でも、自分で帳簿をつけられるようになって、それを他のメンバーに教えることができるようになって、これが「エンパワーメント」っていうんじゃないかと思ったの。



平成 17 年(2005 年)3 月 3 日 上の言葉は手前ピンクのサリーの女性の隣に座る写真中央の水色のドレスの女性の言葉(於:ビシャカパトナム市内)

3 月 1 日～3 日、選抜に残った 7 つの SHG を対象に SHG 内部資金運用とそれを支える帳簿づけのトレーニングが実施されました。毎月 50 ルピーの貯蓄の運用の仕方、グループでの資金運用を支える金銭出納簿、貯蓄やローンの仕訳帳の付け方を、真剣に学ぶ 7 つのグループの代表オバチャンたち。

ビシャカ・ワニタ・ クランティ (VVK) 誕生

事業開始から9か月、今までそれぞれのスラムでバラバラに活動していたSHGが7つ集まって、ひとつの組織をつくりました。

平成 17 年度 (2005 年 4 月～2006 年 3 月) アタシたちがつくるルール

平成 17 年 4 月

誰かに呼ばれたからミーティングに行くんじゃない「これは、アタシたちのミーティングだから」

平成 17 年 3 月に 7 つの SHG で 1 つの組織をつくと決めたオバチャンたち。第 1 回のミーティングは 3 月 26 日、第 2 回のミーティングが 4 月 4 日に、と立て続けにミーティングを開きました。今までミーティングに呼ばれることはあっても、自分たち自身でミーティングを開くことなど全くありませんでした。オバチャンたちのミーティングは、しばらく、議題を決めるだけで、2、3 時間かかりました。



平成 17 年(2005 年)4 月 4 日 7 つの SHG の代表者が集まってミーティング(於:ビシャカパトナム市郊外)

平成 17 年 5 月

アタシたちの事務所オープン

5 月 11 日、郊外のスラムのメンバーも市内のスラムのメンバーも通えるように、その中間地点に事務所を開設しました。開設式の飾り付け、式の進行など、すべてオバチャンたちが取り仕切りしました。



平成 17 年(2005 年)5 月 11 日 オバチャンたちの新組織と PCUR-LINK プロジェクト事務所を兼ねた事務所開設式(於:ビシャカパトナム市内)

平成 17 年 6 月

「ビシャカ・ワニタ・クランティ」命名

7 つの SHG で名前を持ち寄って、投票した結果、「ビシャカ・ワニタ・クランティ」という名前が、新組織の名前となりました。「ビシャカ」はビシャカパトナム、「ワニタ」は女性、「クランティ」水が渾々と湧き出る泉のように、女性の力がかがやく、という意味です。事務所の庭も自分たちでデザインしました。



SHG だって、ビジネスだって、 基本は、ちゃんと帳簿がつけら れること。でも「なんで帳簿を つけなくちゃいけないの？」

6 月は日本から税理士の先生に来ていただき、
会計の基礎の基礎を学んだオバチャンたち。そも
そも「なんで帳簿をつけるの？」という基本から、年
度末の損益勘定表や貸借対照表の基礎を学びまし
た。



平成 17 年(2005 年)6 月 3、4 日 税理士の先生にわからない
ことをどんどん質問するオバチャンたち(於:ビシャカパトナム市
内)

平成 17 年 7 月

SHG ミーティングでも、VVK ミーティング
でも、スタッフは挙手をして許可をとってから
発言すべし

スタッフは、7つの SHG のグループミーティング
に毎月、足を運んでいました。スタッフがミーティ
ングに行く際、徹底したのは「ミーティングは SHG の
ものであって、PCUR-LINK 事業のスタッフのもの
ではない。なので、スタッフが発言したいときは、必ず
挙手をして、メンバーに許可をとること。」でした。こ
うした細かな行動を通して、スタッフに「SHG や
VVK は独立した組織なんだ」という思いが、そして
SHG や VVK メンバーに「これはアタシたちの組織
なんだ」という思いが芽生えてきました。

平成 17 年 8 月

組織のルールを作るのはタイヘンだ！

VVK は代表メンバーの選出や、総会、会費など
様々なルール「VVK 会則」を決めると、決めてから
6 ヶ月。何度ミーティングを重ねても会則は決まり
ません。またビジネスを始めたい、という気持ちは
あるのですが、何から手をつけてよいかわからな
い。何度も「会則どーしよー!？」と話し合いを続け
るオバチャンたちでした。



平成 17 年(2005 年)8 月 11 日 VVK ミーティングで議論され
た会則を SHG メンバーと共有(於:ビシャカパトナム市郊外)

毎月の VVK ミーティングはいつ
も 5、6 時間かかり。
初めての VVK 事業計画。
初めての会則づくり。
誰の責任でもない、自分たちで決
めて、自分たちで行動する。

そんな組織づくりは、今まで誰も
したことがなかった。

平成 17 年 9 月

「ビジネスをはじめたい」でも、「誰を対象に？」大都市ハイドラバードに市場調査

VVK の会則づくりに四苦八苦ししながら、オバチャンたちはビジネスも始めたいと必死。でも、何を商品にして、誰に売ったらよいか全然わかりません。オバチャンたちの知っている顧客層なんて一つだけ。それは自分と同じ収入レベルの市場。そこで、オバチャンたち、アンドラ・プラデッシュ州の州都、大都会ハイドラバードまで出かけて行って、高級店、中級店、下町のバザールと、3 種類の市場を見てくることになりました。



平成 17 年(2005 年)9 月 16 日 お店の前でも値段や品揃え、店員の態度などメモしながら視察(於:ハイドラバード市内)

平成 17 年 10 月

チェンナイのアクシャヤ銀行で学ぶ SHG 連合体の会則づくり

会則づくりにとりかかってからすでに 8 ヶ月。未だに、会則づくりがよくわからず、チェンナイの SHG 連合体「アクシャヤ銀行」に再度、教えてもらいに行くことになりました。「サトウキビは食べ始めは苦いけど、かんでいるうちにどんどん甘くなる。会則もつくるときは、しんどいが、つくってみるとそれは自分たちを守るものになるのだ。」と NGO「CFDA」代表とアクシャヤ銀行のメンバーに励まされました。



平成 17 年(2005 年)10 月 16 日 アクシャヤ銀行のメンバーに説明を受ける VVK からの参加者 (於:チェンナイ市内)

平成 17 年 11 月

ビシャカパトナム市内の中・上流階級マダムの視点で見るビジネス

「作れるものを売る」ではなくて、「売れるものを作る」というモットーでビジネスを！でも、消費者、特に中・上流階級の消費者の視点がわからない。そこで、ビシャカパトナム市内で、慈善事業を行う団体「インナー・ウィール・クラブ」のマダムから、直接話を聞くことに。「貧しい人を助けるためという商品を買うのは 1 度だけ。何度も買うのはやはり高い品質の商品よ。」そんなマダムのコメントの 1 つ 1 つを熱心に聞く VVK のオバチャンたち。



平成 17 年(2005 年)11 月 18 日 インナー・ウィール・クラブ代表の話を熱心に聞く VVK メンバー(於:ビシャカパトナム市内)

自分の言葉で、18 ヶ月間の事業を JICA スタッフに発表するマヒラ・アクションのスタッフ。

「SHG のミーティングでスタッフは話してはダメと、どうしてソムニードから言われたか最初はわからなかった。」

平成 17 年 12 月

JICA スタッフのビシャカパトナム訪問

JICA 中部国際センターと JICA インド事務所からスタッフが 2 名、ビシャカパトナムを訪問し、事業をモニター。「ソムニードと活動して、何が変わりましたか？」という JICA スタッフの質問に答えるカウンターパートのマヒラ・アクションのスタッフ。「PCUR-LINK 事業が始まった当初、今まで“SHG のために”って私たちが活動してきたことは何だったのかと不安になりました。でも今は、帳簿を書いてあげたり、ミーティングを開いてあげたりするのは実は SHG を助けていないんだ、ってわかりました。私たちは“ファシリテーター”なんです。」



平成 17 年(2005 年)12 月 10 日 事業モニターに訪れた JICA スタッフに 18 ヶ月間の事業を説明する NGO「マヒラ・アクション」のスタッフ (於:ビシャカパトナム市内)

<PCUR-LINK 事業 あしあと>

36 ヶ月間の研修記録集

平成 16 年 4 月から平成 19 年 6 月までの 36 ヶ月間の研修記録を作成しました。

<言語:英語・テルグ語※>

※テルグ語は、アーンドラ・プラデッシュ州の公用語です。

平成 18 年 1 月

ド〜ンとやってみましたサリー小売業 商売は大変だ！

1 月のヒンドゥー教のお祭り「ポンガル」には、多くの家庭で、新しいサリーを新調します。そこで、何かビジネスをやりたい VVK のオバチャンたちは、自ら 25,000 ルピー(約 7 万円)を投資して、サリー小売業に挑戦しました。

サリーの売り上げ中間発表会では、ソムニードのスタッフが、サリーの小売を例に「コスト計算とは何か」という講義をしました。



平成 18 年(2006 年)1 月 6 日 中間収支報告を行うが、収支は全然合わず、すでに多くの在庫を抱え、「ど〜して売れないの〜」と大混乱の商売の第 1 歩(於:ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 2 月

VVK の会則誕生！

アタシたちが決めた、アタシたちのルール

会則を決めるぞ！と決めてから 11 ヶ月。ようやく、ようやく、25 条から成る VVK の会則が完成。子どもが生まれるように時間のかかった VVK の会則です。



平成 18 年(2006 年)オレンジ色の小冊子が会則 (於:ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 3 月

在庫であふれる VVK 事務所 商売はホントに大変だ！

12 月終わりから 1 月にかけて始めたサリー小売業ですが、ツケで払う人や、ポンガル(祭り)の時期を逃す等で、VVK の事務所は在庫のサリーでいっぱいになりました。大失敗の最初の商売でした。

自分たちで投資したお金ではじめてビジネス。

大損してはじめて分かるコスト計算と帳簿管理の大切さ。



平成 18 年(2006 年)3 月 サリービジネスが「なぜ失敗したか」オバチャンたち自身に分析させるソムニード・スタッフ(於:ビシャカパトナム市内)



平成 18 年(2006 年)3 月 VVK 事務所にあふれるサリーの在庫(於:ビシャカパトナム市内)

自分で投資したお金が、全く回収できず、大損になってしまったサリー小売業の失敗が、次のビジネスに活かされるよう、その失敗の原因をひとつひとつの事例を挙げて、ソムニードはオバチャンたち自身に分析してもらいました。

これ以降、オバチャンたちは、「ビジネスを始めるにあたって、もっと基本的な帳簿づけや、仕組み、ルールのことをもっと学びたい」という気持ちが高まってきました。

アタシたちの会員総会 アタシたちの団体登録

7つの SHG で始めた VVK も、組織づくりに興味のないグループが抜け、平成 18 年 3 月末には、4 グループのみになってしまいました。しかし、残った4つの SHG は、新たに VVK 加盟グループを勧誘すべく、積極的に活動をスタートしました。

平成 18 年度

(2006 年 4 月～2007 年 3 月)

オバチャンたちの努力が形になって
現れ始めた！

平成 18 年 4 月

すご〜い緊張した第 1 回 VVK 会員総会

会則に基づいてはじめて開かれた会員総会。「総会って何？」というトレーニングに始まり、総会準備に毎日夜遅くまで事務所に詰めるオバチャンたち。第 1 回の総会は、新たに VVK メンバーになりたいという SHG も大勢参加しました。



平成 18 年(2006 年)4 月 20 日 記念すべき VVK 第 1 回会員総会(於:ビシャカパトナム市内)



平成 18 年(2006 年)4 月 20 日 総会では SHG 内部資金運用と帳簿づけの研修後、どれだけ各グループのキャッシュフローが増加したか、グラフを使って発表。(於:ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 5 月

もっと知りたいコスト計算。

サリービジネスの大失敗から見事に?! 立ち上がり、はりきって研修に参加するオバチャンたち。大損失の要因のひとつは、「コスト計算のないビジネス計画」であったため、ソムニードの指導で、コスト計算シュミレーションを行いました。



平成 18 年(2006 年)1 年間の商売のシュミレーションをするオバチャンたち。何度シュミレーションしても、2 ヶ月で破産する商売ばかりで、頭を痛めている様子(於:ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 6 月

アタシも VVK メンバーになりたいワ！

会員総会から 2 ヶ月後の 6 月の月別定例ミーティング。オバチャンたち独自の勧誘で、新たに 2 グループが VVK に加盟！VVK 事務所は、オバチャンたちの熱気でいっぱいになってきました。



平成 18 年(2006 年)6 月 28 日 新しいグループが加わり、月別定例ミーティングでは、座る場所がないほど混み合っている。(於:ビジャカパトナム市内)

平成 18 年 7 月

新しいグループを VVK がモニターする

新しく VVK に加盟したグループを、モニターするためのチェックリストを作りました。チェックリストに基づいて、各 SHG を訪問する VVK のメンバーは、どうやって帳簿をつけるか、内部資金運用するか、新しいグループにアドバイスをします。「アタシของกลุ่มはこうやってんのよ。アンタのグループもできるわよ」という非常に説得力のあるアドバイス。

VVK の団体登録手続きを 6 月から始めたオバチャンたち。
何度も役所に足を運ぶけど、何が登録に必要な書類かすら教えてもらえない。

コラム4：団体登録はなぜ必要？

インドでは各州ごとに特有の団体登録法があります。VVK は、平成 18 年 4 月の会員総会で複数の SHG が集まって銀行業をひとつのビジネスにすることを決定しました。VVK が事務所を持つビジャカパトナム市は、アーンドラ・プラデッシュ州に属し、同州では複数の SHG が集まって銀行業をするのに、団体登録をしなければ銀行業はできないことになっています。その登録する法律が、相互扶助組合法(Andhra Pradesh Mutually Aided Cooperative Act)といいます。ビジャカパトナム市内にも同組合法の事務所はあり、そこで登録することになります。一度では登録は終わらず、オバチャンたちが交代で、何度も何度も登録事務所に足を運び、登録に必要な書類を教えてもらう、書類の書き直しをする、を繰り返しました。

平成 18 年 8 月

VVK のオバチャンたちに会いにインドネシアからはるばるやってきた仲間たち

JICA 技術協力事業「インドネシア市民社会による地域コミュニティ開発(PKPM)事業」の関係者が VVK のオバチャンたちから「PCUR-LINK 事業」の説明を受けました。



平成 18 年(2006 年)8 月 12 日 ビジャカパトナム市内スラムの SHG を訪れる PKPM メンバー。(於:ビジャカパトナム市内)

クラフト素材開発研究のスタート。 「アタシたちが捨てているものは、 実は宝物かもしれない」 ソムニードが新しいビジネスを VVK に提案。

ソムニードでは、インドで捨てられているような素材を使って日本でクラフト講座を実施しようと計画
中。オバチャンたちは、クラフト素材の収集、加工、
輸出といった仕事をやる、と宣言しましたが……。
これからしばらく、身近にはどんな素材があるか、
どのように一次加工するか、という研修や調査をソ
ムニードと VVK が一緒に行うことになりました。



平成 18 年(2006 年)8 月 18 日 ソムニードのクラフト素材開
発担当者が、VVK のオバチャンたちに新ビジネスを説明。(於:
ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 9 月

4 月の会員総会から 5 ヶ月。オバチャンたち
自身による新規 VVK 加盟グループの募集で、
グループ数は、4 から 20 に！

新しく VVK に加盟する SHG のパフォーマンスを
VVK のオバチャン自らがモニターしたり、積極的に、
VVK 加盟 SHG を募集したところ、9 月末には、な
んと 20 の SHG が VVK に登録しました。
毎月 28 日の定例ミーティングでは、各グループか
ら 1 名が代表で VVK 事務所に集まります。
自分たちで決めた月々の VVK への貯蓄や、年会

費などを集め、また様々な研修のお知らせや研修
の成果をミーティングで話し合います。



平成 18 年(2006 年)9 月 28 日 新しく VVK に加盟したメンバ
ーにもわかる言葉で、VVK の活動を紹介するよう指導するソム
ニードのスタッフ。(於:ビシャカパトナム市内)

平成 18 年 10 月

半年間の成果を報告する総会の実施

10 月 4 日。4 月の総会から 6 ヶ月間の VVK の
活動成果を全メンバーに報告し、残りの 6 ヶ月の
活動計画を確認する 10 月の総会。準備から、当
日の進行、報告書まで、すべてオバチャンたちの
手で行われました。



平成 18 年(2006 年)10 月 24 日 総会の受付。(於:ビシャカ
パトナム市内)

<PCUR-LINK 事業 あしあと2>

VVK 活動紹介映像 (DVD 5 分間)

VVK のこれまでの歩みを 9 人のメンバーが語る記録 DVD を制作しました。

<言語: 英語・テルグ語>

平成 18 年 11 月

VVK のオバチャン、農村部の SHG のオバチャンと交流スタート!

VVK のオバチャンたちは、ビシャカパトナムから 150 キロ離れた農村部に、出かけていきました。以前ソムニードと一緒に活動したことのあるポガダヴァリ村の SHG メンバーと出会い、将来のビジネス等の連携に向けて、第一歩を踏み出しました。



平成 18 年(2006 年)11 月 13 日 ポガダヴァリ村の SHG リーダー(写真左)の歓迎を受ける VVK 代表(写真右)(於:スリカラム県ポガダヴァリ村)

団体登録をはじめて 7 ヶ月後、ようやく 12 月に団体登録が完了。この 7 ヶ月間、登録手続きをしてくれない役人を相手に、最低週に 1 度は登録事務所に足を運んだオバチャンたち。その努力が報われました!

平成 18 年 12 月

念願の団体登録完了

いよいよ開始 VVK 銀行!

VVK メンバーが毎週交代で足を運んだ登録事務所。いよいよ団体登録が完了した VVK 事務所前には、誇らしげな VVK の看板が光っています。



平成 18 年(2006 年)12 月 VVK 代表メンバーは出来上がった看板を見て、嬉し涙を流しました。(於: VVK 事務所ビシャカパトナム市内)

VVK 銀行からお金を借りて、返す仕組みづくりも自分たちで!



平成 18 年(2006 年)12 月 18 日 団体登録後、すぐに結成された銀行業準備委員会。ソムニードから銀行業の仕組みの研修を受けるオバチャンたち。(於:ビシャカパトナム市内)

グループの内部資金運用と帳簿づけの講習（3 ヶ月間）が終了。講習最終日まで残った指導員は 4 名。この 4 名が、各 SHG を訪問し、帳簿づけの指導をします。

平成 19 年 1 月

オバチャンからオバチャンへの技術移転がはじまる

「アタシが新しい帳簿づけの技術を学ぶだけでなく、アタシが仲間にもその技術を教えられることが嬉しい」と最後まで講習に残った 4 名のオバチャンたちは、早速それぞれ分担を決め、各 SHG の研修にでかけて行きます。



平成 19 年(2007 年)1 月 24 日 指導員研修に最後まで参加した 4 名。(於:ビシャカパトナム市内)

<PCUR-LINK 事業 あしあと 3>

VVK オリジナル帳簿づけと会則カレンダー
(全カラー12 ヶ月)

SHG の帳簿付けのための練習問題と VVK 会則が記載され、さらにオバチャンたち自身が写真に掲載されているという VVK オリジナル・カレンダーを制作し、VVK メンバー全員に配布しました。 <言語:テルグ語>

平成 19 年 2 月

クラフト素材開発研修

農村部では捨てられているタマリンドの殻の部分を干して、日本でのクラフト講座に使用するために量って袋詰めをする作業をしました。



平成 19 年(2007 年)2 月 3 日 同じ重さに量ることだけで一苦労。(於:ビシャカパトナム市内)

平成 19 年 3 月

VVK 銀行がはじまりました

自分たちで決めたローン返済ルールで、自己資金だけで 23 万円近くのお金を貸し出しました。



平成 19 年(2007 年)3 月 ローン返済シートと銀行の帳簿を管理する VVK スタッフ。(於:ビシャカパトナム市内)

JICA の支援は終わるけど、 アタシたちの VVK は終わ らない

JICA草の根技術協力事業パートナー型がいよ
い平成 19 年 6 月末で、3 年間の事業がすべ
て終了します。

平成 19 年度

(2007 年 4 月～6 月)

3 年間を振り返り、新たな一步を
踏みだそう

平成 19 年 4 月

満員御礼：団体登録後、初めての会員総会

ビシャカパトナムには、VVK のように団体登録を
した SHG 連合体がありますが、毎年総会を開いて、
新代表メンバーを選び、会計監査をする団体など
ほとんどありません。VVK は、当たり前のことを地
道に行い、自分たちの組織を育てています。



平成 19 年(2007 年)4 月 参加者が 270 名を上回り、大盛會に
終わった第 2 回 VVK 会員総会。(於:ビシャカパトナム市内)

平成 19 年 5 月

このセンターを使うのはアタシたちよっ！
農村部のオバチャンたちと一緒に始める試験的
クラフト素材ビジネス

気温が 40 度を超える猛暑。VVK のオバチャンた
ちは、建設中の生産・物流センターを訪れ、農村部
のオバチャンたちと今後のクラフト素材ビジネスに
ついて話し合いました。また村にでかけて、村の不
用品の中からクラフト素材に何かできるか探しまし
た。



平成 19 年(2007 年)5 月 25 日 センターの名前を農村部の
SHG とビシャカパトナムの VVK メンバーで決めることになりま
した。(於:スリカラム県パタパトナム)



平成 19 年(2007 年)5 月 26 日 最後の工事が急ピッチで進む
生産・物流センター(於:スリカラム県パタパトナム)

平成 19 年 6 月

3 年間の VVK を演劇で振り返ろう！

JICA 中部国際センターそして、JICA インド事務所、そして評価ファシリテーションの専門家を交えて、VVK とソムニードが 3 年間の PCUR-LINK 事業評価を行いました。



平成 19 年(2007 年)6 月 29 日 JICA スタッフを含む評価チームの前で、演劇を発表する VVK メンバー。この日のために 1 ヶ月かけて練習しました。(於: ビジャカパトナム市内)

オバチャンたちが自分たちの 3 年間の演劇にして振り返えるという評価。演劇に役者として参加したオバチャンだけでなく、評価最終日には、VVK に加盟するメンバー 259 名を対象に、演劇の発表会を行いました。



平成 19 年(2007 年)7 月 3 日 ビジャカパトナム市立劇場で 259 名の観客の前で演劇を披露した VVK チーム。(於: ビジャカパトナム市内)

<PCUR-LINK 事業 あしあと 4>

SHG 指導員用教本～内部資金運用法・帳簿付け～

Self Help Group Trainers' Guide
～Towards maximum utilization of own resources～ <言語: 英語・テルグ語>

PCUR-LINK 事業の 3 年間

平成 19 年 6 月 30 日、JICA 草の根技術協力事業による PCUR-LINK 事業は終了しました。ソムニードは、この 3 年間、ビジャカパトナムのスラムのオバチャンたちの可能性と潜在能力を信じ、彼女たちと共に活動してきました。オバチャンたちは、ソムニードと共に活動することに合意し、JICA 草の根技術協力事業が与えてくれる様々なチャンスを掴み、自分たちの力に変えていきました。援助機関で働く私たちは、いわゆる開発途上国の貧しい人を助けることは決して出来ないと思います。しかし、自らの運命を切り拓こうと行動を起こす人たちと共に歩むことが出来るということを、オバチャンたちから学びました。ソムニードは JICA とこのオバチャンたちと 3 年間、共に活動できたことを誇りに思います。素晴らしいこの 3 年間の機会を与えてくださった JICA 中部国際センター、JICA インド事務所、そして VVK のオバチャンたちに、ソムニードのスタッフを代表して心からお礼申し上げます。

原 康子
PCUR-LINK 事業
プロジェクト・マネージャー
(特定非営利活動法人ソムニード)

運命を切り拓くアクション

インド・ビシャカパトナムのスラムの
オバチャンたちとの 36 ヶ月の記録
(JICA 草の根技術協力事業
PCUR-LINK 事業)

発行: 特定非営利活動法人ソムニード

事務局本部: 岐阜県高山市花里町 1-26-25
SOMNEED India: 4-51-25 Lawsons Bay
Colony, Visakhapatnam 530 017 Andhra
Pradesh, India

2007 年 7 月
